

第10回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」の議事概要について

1. 開催日時：平成29年6月1日（木）10：00～12：00
2. 開催場所：メルパルク京都 6階 会議場C【貴船】
（京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町）
3. 委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）
佐々木一英（国立研究開発法人土木研究所 水工研究グループ長）
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授） 欠席
鄭 小平（立命館大学経済学部 教授）
◎深川良一（立命館大学理工学部 教授）
◎印は委員長（50音順・敬称略）

4. 議事概要：

委員会は委員5名中4名の出席により、事務局から委員会規約の改正、大戸川ダム建設事業、川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備の実施状況、コスト縮減策等について説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

<淀川水系ダム事業費等監理委員会規約の改正について>

- ・規約の改正について、提案通り了承された。

<大戸川ダム建設事業について>

- ・落石・転石に対応するため、事前の調査を適切に実施すること。
- ・落石・転石への対応なども含め、今後の予算の見直しを適切に実施すること。
- ・関係者との協議・調整を適切に実施し、事業を進めること。

<川上ダム建設事業について>

- ・基礎処理について、岩盤条件が良好な場合など、現場条件に合わせ施工計画を見直し、コスト縮減を図ること。
- ・安全管理を徹底し、事故防止・工期遵守をはかること。

<天ヶ瀬ダム再開発事業について>

- ・重金属等含有岩石処理対策によるコスト縮減については、説明に工夫をされたい。
- ・工事受注企業からの技術提案を積極的に採用し、コスト縮減に努めること。

<丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について>

- ・資料については今後も、今回のような形で作成し、説明されたい。
- ・引き続き、地元に取り添った対応をしていただきたい。

以上